

後期高齢者医療制度に加入の皆さまへ

ジェネリック医薬品をご検討ください

8月下旬から9月上旬にかけ、ジェネリック医薬品を使用された場合、1か月の自己負担額が200円以上軽減される可能性がある方を対象に、ジェネリック医薬品使用促進のお知らせをお送りしています。

患者負担の軽減や医療保険財政の改善のため、ジェネリック医薬品の使用をご検討ください。



※このお知らせは、現在処方を受けているお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に自己負担額が軽減できることをお伝えするもので、切り替えを強制するものではありません。

※切り替えを希望される方は、かかりつけの医師または薬剤師にご相談ください。医師からの変更制限がなければ、ジェネリック医薬品の切り替えが可能です。

【お問い合わせ先】

和歌山県後期高齢者医療広域連合(TEL: 073・428・6688)

緊急時に備えて《救急医療情報キット》を活用しませんか？

万一の緊急事態に本人等が症状などを説明することができない場合、キットの情報を活用することで適切で迅速な救急活動が行えます！



救急医療情報キットとは!?

かかりつけの医療機関や疾病等の救急搬送時に必要な情報を冷蔵庫の前面や側面にマグネットで貼り付け保管しておくものです。

対象者 日高町内にお住いの75歳以上で一人暮らしの方

申請の方法 ①いきいき長寿課までお申し込みください。
②申請後、情報シートと必要書類を入れる容器を配布します。

利用の方法 ①情報シートに必要な情報を記載します。
②記載済み情報シートと保険証、診察券、薬の情報等の写しを容器の中へ入れ、冷蔵庫の前面か側面に貼り付けておきます。

★情報シートへの記載や保険証、診察券、薬の情報等の写しのご準備は、ご本人、ご家族でお願いいたします。

【お問い合わせ先】 いきいき長寿課(TEL: 63・3807)

9月は「世界アルツハイマー月間」です

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機構(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。

また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。

☆認知症サポーター養成講座を受けてみませんか?☆

日高町では、認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるために「認知症サポーター養成講座」を開催しています。認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を地域や職場で見守り、支える人のことを言います。

認知症の正しい理解・啓発のための養成研修を受けた「キャラバン・メイト」が各地に出向き、「認知症とは何か?」「どのように接すれば良いか?」などについて、わかりやすく説明します。

内容 「認知症とは?」「認知症の人への接し方」の解説、ビデオ上映など

時間 1時間～1時間30分程度

対象 日高町民、町内在勤の方

人数 5名程度から

場所 各地区の集会所など



※講座の受講をご希望の方は、日高町地域包括支援センターまでご連絡をお願いします。

☆認知症ケアパスについて☆

「認知症ケアパス」とは認知症の方やご家族が、認知症の状態に合わせて、どのようなサービスや支援を受けられるかを表したものです。

以下の施設に配布していますので、ご自由にお取りください。

●日高町役場

●日高町社会福祉協議会(ふれあいセンター)

●ひだか博愛園みちしお

【認知症に関する相談はこちらまで】

日高町地域包括支援センター(いきいき長寿課内)(TEL:63・3807)

日高町在宅介護支援センター(日高町社会福祉協議会)(TEL:63・1010)

『地域カフェ』を開催します!

みなさんで、お茶を飲みながら、
楽しい時間を過ごしませんか?

「サンフルひだか」のパン
販売を予定しています!

日時 9月21日(木) 午後1時30分～3時

場所 高家(南)集会所(日高町高家1031-4)

参加費 100円

対象 日高町内にお住まいの方

【お問い合わせ先】

日高町地域包括支援センター(いきいき長寿課内)(TEL:63・3807)

提供メニュー

- ◎コーヒー
- ◎紅茶
- ◎日本茶

